

日刊 四廿夕 磐城時報 編輯部 石城郡平町番町十四 印刷部 八田 弘 成 電話 八田 弘 成 發行所 石城郡平町番町十四 電話 八田 弘 成 代印部 石城郡平町番町十四 電話 八田 弘 成 廣告部 石城郡平町番町十四 電話 八田 弘 成 印刷部 石城郡平町番町十四 電話 八田 弘 成 代印部 石城郡平町番町十四 電話 八田 弘 成 廣告部 石城郡平町番町十四 電話 八田 弘 成

當選の三代議士 各々喜びを語る

雪辱成る……佐藤庄太郎氏 期待に添ふ……鈴木辰三郎氏 同情に感謝……比佐昌平氏

石城郡から轡を揃えて出馬した佐藤、鈴木、比佐の三氏は数回の奮闘空しく見事中原の鹿を射止め議政壇上に起つ事となつた。喜びの三氏を訪ふて感想を聞く。

▲佐藤庄太郎氏談 前回の雪辱として再び相乗り出馬したところ石城の方より絶大の感懐があり幸に老後に花を咲かして下された事は總べて皆さんの深く御同情の結果であるといふ事を痛感してゐる次第であります。老後の念願として茲に奉仕の生活即ち郷土の國家の爲又我が政友會の爲大馬の勞をつくる考へであります。

壯嚴盛大を極めた 鵜沼上等兵の村葬

海軍大臣代理も會葬

去る二月五日上海の激戦に於て佐會葬し靈廟には海軍大臣を始め戦死した石城郡鹿島村二等水兵の第一師團長 第十九聯隊長 憲兵義光君の遺骨は過坂郷里鹿島の他在郷軍人分會等から贈らる村に到着したが、二十四日午れた花輪數十個が飾られ神官の後一時から同村小學校で神兩祈詞、僧侶の讀經あり遠来始め式により盛大な村葬が営まれた。余名の會葬者が香をなした海軍大臣代理として石橋海軍中殿を極めた。

當選祝賀會

佐藤庄太郎氏の當選祝賀會は十四日正午から平町驛前 界館に開演したが會衆一、千名で佐藤氏の謝辭後同氏の演説あり宴を開いて盛會裡に午後三時散會した。

當選祝賀會

比佐昌平氏の當選祝賀會は二十五日午平町聚樂館で比佐昌平氏の當選祝賀會を開くと。

勿來の後任町長は 赤津氏が最も有力

石城郡勿來町々長大平時四郎氏は本十を以て満期 職のため町長選挙會、にまで開かれ、氏最も有力 支持する 多いが一部議士に赤津修一氏を推し、又大平氏自身再選を希望し三つ巴の暗闘飛躍が展開されて居たが總選挙で一時中止休戦の状態である。津兵衛氏は満場一致なればと萬更でもないふりを示してゐるが、選挙なれば必勝は勿論である。従来同町々長はいれも満場一致で推薦されてゐた大平氏は四期十二年町長とし、業學校は二十七日午後一時から同校講で本年々業生の送別會を準備する。

土木課長 石城郡視察

土肥、木課長は濱通り管内初巡視のため二十二、午後一時來郡小村平土木監督所長の案内で町南裏道、新川水害豫防工事町内道各舗装並に舊警署敷地跡を視察し更に目下改修促進運動をしてゐる勿來町九面より隣茨城に通ずるトンネル並に三株線道の改修計画をも視察することあつたが地元民の熱誠なる事情によつて、改修實現は新任課長に大いに期待するものがある。

平町母の會

の會では二月六日晝は聚樂館で女生徒のために母性愛の活動寫眞を映寫し、夜は一般婦人に公開する。

納税奨励協議

平町では二十日午前十時から役場會議室に町内十一納税組合代表者を召集し今後の納税奨励對の他につき意見の交換をいひ實 計に關し協議した。

平町に開く

縣下女子中等學校長會議は本年四月下旬平町立警城高女内に開く。十、通知があつた。

卒業生送別會

業學校は二十七日午後一時から同校講で本年々業生の送別會を準備する。

區民連署して 高麗橋架替陳情

明年年度豫算に計上

平町舊城跡から八幡小路に通ずる高麗橋は橋脚が腐朽し車馬の通行に危険を感ずるやうになつたので平町役場では明年度豫算に架替費を計上すべく調査中だ。場を開き春季檢閲並に幹部大會が、舊城跡區は伊藤金壽、胡塵その他火防諸般の協議打合せを澤區長赤塚吉兩氏外區民數十名等であるが、檢閲は三月下旬は連署して廿四日平町役場に、大會は櫻花の四月植田町に架替促進の陳情書を提出した。おいて舉行される由である。

植田消防檢閲

植田署管内各町村消防組頭會は来る三月六日午後一時から同署演武場にて開き春季檢閲並に幹部大會を開き、櫻花の四月植田町に架替促進の陳情書を提出した。おいて舉行される由である。

着衣に火が移り 全身黒焦げ即死

警城セメント職工の奇禍

岡田温氏を招き農業經營の講習會を開く。

農業經營講演

石城郡農會では三月十五日午前九時郡農會で三月十五日午前九時から平町事務所帝國農會農事

新代議士の横顔

その一 辯論の人奇智の人 鈴木辰三郎氏

鈴木辰三郎氏は代議士として新顔だ。然し辯論者となり政治界に於ては押しも押されぬ大立物である。氏は辯論の達人、五年の議會で少政黨の政友會を率へて盛に活躍したものだ、奇智に富み敵の腹を

もの、人生そのものは決して行き詰まるものではないから失業だの就職難だのは年少時代にあまり考へさせてはいけない。絶えず光明を認めて前進するやうに指導し自ら新しい事業を創造する事を鼓舞しなければならぬ。使つてくれる人が居ないから仕事が出来ないとか、就職口を探し廻ることばかりしてゐるは駄目だ、どうせ遊んでゐるのだつたらその間に何か手助けをする位の態度をとらせるやうにする必要がある。機械が發達すると人がいらなくなると云ふのは一面の見方であるが、その機械を造り出すのは人である。少し人の價値を見出させるやうにし、多くの人の生きる道を考へさせ、これが爲めには家庭に於けるやうに努めなければならぬ。これが爲めには家庭に於ける勤務に於ても絶えず工夫し、また研究する態度を持ち機械的に仕事をさつと終へては休むことを考へさせ、標とした勤務は眞の勤務ではない。工夫し研究することに趣味を持たせるやうに指導しなければならぬ。

訂正 本紙第五千四百九號所載第三區當選者の得數中佐藤庄太郎氏一九、二二九、比佐昌平氏一六、二九六、氏家氏清氏一三、一一八と訂正す。

士であると同時に座談の士でもある。話題の多いのと、巧なる皮肉、ユーモアは相手をして最初からお終ひまで笑はせてゐる。頭は明晰で問題の解決点などの見定めが早くつく。親分肌の所もあつて石城郡内は勿論同区内に熱心な信者を持つてゐる。官吏等にも氏の息の掛つてゐるものが頗る多い。話術、風貌にアカ抜けた所があつて田舎はなれた所がある、中央に行つても相當の活躍が期待されやうと思ふ。

弊店事店主死亡のため去る二月八日
以來休業仕り御最負各位に多大の御
迷惑を相かけ申候段御詫び申上候
二月二十四日より従前通り營業仕候
間倍舊の御引立に預り度く以紙上奉
懇願候
二月二十三日

藤市蒲鋒店

電話三〇五番

冬服荷揃ひ

紺色柄物 ↓ 三ッ揃……………拾貳圓
最新柄 スコッチ ↓ 三ッ揃……………拾三圓五十錢
最上紺黒 サージ ↓ 三ッ揃……………拾六圓五十錢
高級品 ウィンデット ↓ 三ッ揃……………拾九圓

平町 正札堂洋服店 電話四三六番

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

貸切御用命

ゼヒ 三井自動車部へ
電話六八五番
乗合は 好間・合戸・澤渡方面行

本年は 黒靴の…王座
明るい政治に…黒い靴
戦勝の誇りは…大塚の靴

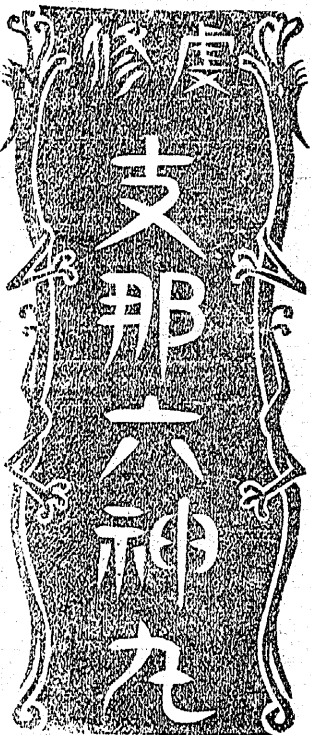
安い靴は…大塚へ

税関引上げの爲め (今絶好の御買ひ時)

靴原料暴騰に次ぐ 暴騰なれど 先値在庫品豊富故に 値上せず
大塚支店製靴部
平町 電話七七番

耳鼻咽喉科 専門
気管食道科 専門

病室完備…自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番



支那六神丸
特約店 平町五丁目 山野邊藥局

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)
元赤心堂病院跡
安齊外科醫院
電話四七五

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・アランク・白 ¥ 1.10
マルソー・ルー・ジ・赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

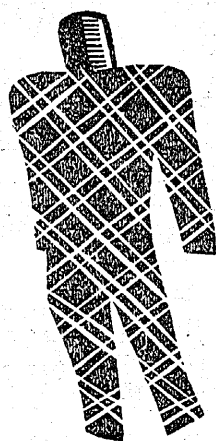
迅速と廉價
印刷物は 加納活版所

陽明 専門 内科
十二指 腸胃病
婦人病 皮膚病
毒夜 専門 皮膚科
院醫科陽村松
(七〇一話電) 町南町平

三栄 湯本信用無盡會社
許免臣大藏大
番七四話電

家庭の防火設備
猛火でも 忽ち消ゆる 粉末消火器
使用輕便、價格低廉、効力偉大
平町四丁目
小野屋藥局
電話百四十四番

冬服の



御召替の節となり
ました。皆様の御氣に召す
品を豊富に取揃へ
て御座ひます。
細目サージ背廣 ¥12.00
ウラスデッド背廣 ¥11.00
黒サージ立襟 ¥ 5.30
オーパ…………… ¥ 4.50

ふかや洋服店 平電 203

消費節約

品質 家庭染料
本店 大平や藥店
平町一丁目
電話四六二番

外科 専門 X光線科
入院應需
上田外科醫院
電話一二九番